

5月16、17日 2年生 海からパワーをもらった日間賀島研修



民宿の方から教わった
アジの開きづくり

二日間好天に恵まれ、二年生の日間賀島研修が大きな成果を収めて終わりました。二年生の学年目標は「挑戦と感謝」。先を見通した行動、仲間と作り上げながら楽しむ様子、そして、自分の責任をしっかりと果たす仕事ぶり。どれも素晴らしいもので、学年目標が強く意識されていました。

一日目は日間賀島に上陸するなり整然と並び、お世話になり民宿の方と気持ちよく対面しました。アジの開きづくり、ビーチレク、魚つかみ、漁船クルージングと順調に進み、余裕を作り出して宿でのんびりする時間をもつことができました。海を見て興奮した生徒たちは、「膝まで」が「腰まで」に、やがて「頭まで」となり、ずぶぬれになる生徒が続出でした。



生徒たちは当然のようにずぶぬれ！

お待ちかねの夕食も楽しくいただき、民宿の方との交流会も和気あいあいと進めました。こうして、内容盛りだくさんの一日目は順調に終わりました。

二日目は、浜の清掃から始まりました。浜にはいろいろなものが流れ着いたり落ちたりしています。2年生は広い浜辺に広がり、初日楽しませてくれたことに対する感謝の思いを込めてゴミ拾いに取り組みました。



タコの駐在所の前で

その後、島内オリエンテーリングが生活班単位で行われました。出会った人たちに挨拶をしながら楽しそうに島を歩く姿、時間に追われて互いに励まし合いながら駆け足でポイントを回る姿など、班が一つになって取り組む様子が印象的でした。

退島式では、お世話になった民宿の人たちを前にして合唱のプレゼント。海をモチーフにした「君と見た海」を透き通る青空と穏やかな海をバックに響かせました。海には人を成長させる力があるようです。瑞浪北中の2年生は海から大きなパワーをもらい、学校生活でもこれまで以上に頑張ることでしょう。

